

# 世界の先住民の国際デー

International Day of the World's Indigenous People

1994年にこの記念日ができました。ところで、先住民っていったい誰の事なんでしょうか？

世界には、3億7000万人以上の先住民が、90を超える地域に住んでいるといわれています。

彼らは、豊かで多様な文化、宗教、慣習、言葉、歴史を持っていました。

## なぜこんな日ができたの？



出典：  
<http://www.flagsaustralia.com.au/AustralianFlag.html>

1つの例を紹介します。

オーストラリアは、かつてはイギリスの植民地（収容所）として、多くの外国人がヨーロッパから入ってきました。その波に押され、もともとオーストラリアという大陸で生活していた先住民たちは、脇に追いやられてしまいました。先住民に関する国連宣言では、先住民は集団であっても、個人であっても、完全な人権と基本的な自由を享受するとされていますが、しかし現実問題として、彼らはあくまで少数派としてみなされ、実質的に様々な制限があります。

## 先住民は、何に困ってる？

先住民がさまざまな保障が受けられないって、具体的に何に困ってるの？次のうち、どれでしょう？

- 1. 教育の問題**
- 2. 医療の問題**
- 3. 仕事の問題**

答えは...**全部**です！

1. 先住民と呼ばれる人々は、独自の価値観、文化を持っています。そのため、その他の人々と一緒に教育を受けるのは難しいとされることもあります。
2. 伝統的な医療方法に頼っていることが多く、衛生環境が良いとは言えません。
3. 言葉の違いもあり、肉体労働もしくは、先住民族内で限られた仕事をしていることが多くあります。

Together, We Can CHANGE the World  
はじめてみよう！あなたにできること。



## コラム

「先住民」は、「先」に「住」んでいた「民」と書きます。では、彼らを「先住民」と名付けたのは誰なのでしょう。それは間違いない、「後」から入ってきた人々なのです。伝統を重視する先住民と、近代化を図る社会、うまく両立していくためには何ができるのでしょうか。保障されるべき先住民の権利を考えると同時に、**自分の持つ文化**とは何なのか、見直してみるのも面白いかもしれませんね！

## 先住民の問題は意外と身近？！

日本にも先住民の権利をめぐる問題は存在しています。北海道のアイヌと呼ばれた人々についての問題、そして沖縄の問題です。公式では、アイヌは北海道の先住民として認められていますが、沖縄の人々は、完全に日本人として解釈されています。

いわゆる「アイヌ文化振興法」は、アイヌの持つその貴重な文化を守ろうとしたものです。



## ちつと国際デー！

関連情報を調べてアクションをおこしてみよう！

- ・好きな国に、先住民族の問題がないか調べてみよう
- ・先住民族の伝統料理や文化について調べてみよう

FTCJはあなたの好きなこと・特技を活かした国際協力をおすすめしています。あなただからこそできる国際協力を一緒に探しませんか？全国のメンバーが様々なアクションを起こしています。アクションのヒントはコチラで検索！

FTCJ 活動ヒント  検索

©認定NPO法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパン